



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2025年4月18日

企業・団体名 大高建設株式会社

代表者名 代表取締役社長 大橋 聡司

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 全てにおいて安全を最優先し、無災害・無事故(休業災害ゼロ、公衆災害ゼロ、熱中症ゼロ)を目指す 【実施状況】 ・工事現場では、ICT対応の測量機器やドローンの導入、VR技術を活用した現場確認などを通じて、作業効率の向上や作業者の負担軽減、安全性の向上に取り組んでいる。令和6年度には、災害により法面が崩壊し、土砂撤去が必要となる危険な作業において、作業の安全性向上とリスクの低減を図るため、バックホウ(掘削積込機械)のオペレーターが運転席に乗らずに遠隔操作で施工を行う試みを実施した。 ・また、仮想現実(VR)技術を活用した除雪作業オペレーター向けのシミュレーターを新たに開発した。これにより、橋梁上での除雪作業など、天候や作業時間帯に左右されやすい実務経験を、リアルな仮想空間で繰り返し安全に行うことが可能となった。
2	【目標】 廃棄物の削減に努め、環境に配慮した施工技術の推進 【実施状況】 ・集合住宅の工事においては、住民の動線への配慮や照度不足による住環境の低下、騒音対策などを工夫して、住民にストレスを与えることなく生活環境を守りながら工事を進め、スムーズに完工することができた。 ・スマートフォンやタブレットPCを活用し、遠隔地からのチャットやリモート会議を積極的に導入し、社内の稟議手続きを電子化することで業務の効率化を図り、クラウドサービスの活用やペーパーレス化も推進している。 ・環境意識の向上を図るため、省エネ活動やエコドライブ、エシカル消費の促進月間を設け、継続的に呼びかけを行っている。また、社内に「リユース掲示板」を設置し、社員が譲りたい物や譲ってほしい物の情報を掲示できるようにすることで、不用品を譲り合うリユース(再利用)活動を推進している。
3	【目標】 新4K・新3Sを中心とする働き方改革で、誰でも平等に働け、安全・安心・快適な職場づくりとダイバーシティの推進 (新4K＝給料・休日・希望の持てる・格好いい、新3S＝smart、sustainable、safty) 【実施状況】 ・ホワイト企業財団より「ホワイト企業GOLD」の認定を受けたほか、「健康経営優良法人2025(中小企業部門・ネクストブライト1000)」、「とやま女性活躍企業」、および「えるぼし(☆2)」の認定も取得している。 ・社内のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進および業務効率化を目的に、AIによる電話自動応答システムを試験的に導入した。 ・「週休2日取組企業宣言」を掲げ、発注業者にも協力を呼びかけるなど、働き方改革の実現に向けた取り組みを行っている。 ・フレックスタイム制度やテレワーク制度を活用し、多様な働き方を推進しているほか、ノー残業デーの導入、休暇制度の取得促進や福利厚生制度の充実にも力を入れている。

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。